



岡山県マスコット
「ももっち」

「あきたのそこちから」に学ぶ 校長便りを通して、同僚性を高める！

城南小学校では、教職員向けの校長便り「我ら Team Johnan Nice Try」が、適宜発行されています。児童や教職員が努力している姿や、挑戦している様子が書かれており、職員室全体に元気を与えるものとなっています。年度初めの校長便りを紹介します。



若手教員の頑張りを賞賛し、意欲を高めている！

職員会議後に校長先生のところに来たA先生。A先生が、会議で話題になった事案について、**自分ができることを申し出たこと**に対して、『A先生のこの姿勢…2年目の恐るべき成長か！それとも、**本来の持ち味発揮なのか！**』

初めて、参観日に授業を行ったB先生に対して、『**生まれて初めての自学級授業参観を、堂々と頑張ったB先生。よくやった～！**』



岡山県マスコット
「うらっち」

Nice Try！な行動を取り上げて、校長先生の思いを伝えている！

昨年度担任していた、児童の保護者との関係の引き継ぎ方について、相談に来たC先生。C先生が築いてきた**保護者との関係を、新しい担任の先生のために進んで引き継ごうとする姿勢に**、『C先生は、**保護者のことを第一に考えていました。私も、自分にできることをもっと私利私欲なく考えていきたいと思われました。**』

岡山県から派遣している柴田先生が、毎週、城南小学校の勤務の様子を岡山県教育委員会に報告していることを受け、「岡山からやってきたあの男から学んだこと」という見出しで、『**毎回、私にも報告書を届けてくれ、それを読むと、秋田の教育の本質ってこんなところにあったんだなど、私自身が気付かされたり、学ばされたりすることがいっぱいあります。**』と記し、城南小学校のよさを、改めて職員に紹介しています。

○城南小学校では、困った子、困った親ではなく、困っている子、困っている親という見方が根付いている。

→『**まだまだ私たちの課題だけど、こういう気持ちやどの先生にも共通してあるってということが、秋田の教育の根っこの部分なんだな。**』

○城南小学校の学年懇談では、どの学年も校長が示す学校経営案を踏まえ、保護者と目標を共有している。

→『**うちの先生達は本当にこの点を大切にしっかりとやってくれているので、校長としてはあらためて感謝しないと！**』

教職員向け校長便りの効果



① 校長先生が、大事にしていることを、教職員で共有することができます。

校長先生が、どの場面を取り上げるかで、**校長先生の大事にしたいことを教職員に伝える**ことができます。城南小学校では、年度当初に確認した合い言葉、「Nice Try！」な行動をした先生を取り上げてあります。

② 同僚の先生達のよいところや、がんばっていることを知ることができます。

新年度に新しい教職員集団でスタートするに当たって、**お互いの人柄や個性を理解し、尊重して、同じ目標に向かって協働する**ことが大切です。特に若手の先生や転任して来られた先生を、新年度の早い時期に紹介しています。